

**千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点
高度特定専門員（特任助教：URA）募集要項**

公 募 内 容	募集職名	高度特定専門員（特任助教：URA）：常勤
	所属	千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点
	募集人数	若干名
	募集要件	大学の研究成果やサイエンスを理解できる素養と、一定程度以上の業務経験を有する方。具体的には、次の条件を満たす方。 1. 医学・生命科学系の分野に関する専門知識を有することが望ましい（特にワクチン、免疫、製薬のいずれか又は複数の分野の知見があることが望ましい）。具体的には大学・企業等で研究に従事した経験や URA の職務経験等がおおむね 3 年以上など一定程度以上の専門知識・経験を有していること。 2. 大学卒業以上の学位を有していること。 3. 業務に必要なパソコンスキル（Word、Excel、Power Point）、文書作成等の処理能力を有すること。 4. 研究・イノベーション推進の支援に強い意欲があること。 5. 組織的な業務遂行に必要な調整能力、交渉能力、プレゼンテーション能力、文章作成能力、コミュニケーション能力及び協調性等を有し、自発的に行動できること。 6. 海外の研究者と会話できる程度の英語力を有すること。
	担当業務	未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点（以下、「拠点」という。）の研究戦略企画や総合的なマネジメントに関して、拠点長、副拠点長、事務部門長を補佐するため、拠点の他のURAと連携しつつ以下の業務を担当いただきます。 1. 拠点内で開催される各種会議体の事務局業務 2. 産官学連携によるワクチン創製研究の推進支援業務 3. 各種コンソーシアム、ワークショップ、シンポジウム等の企画立案および運営に関する業務 4. 研究開発課題の進捗把握ならびに定期報告のための資料作成 5. 競争的研究費等の情報収集、申請書・ヒアリング資料・成果報告書作成支援といったプレアワード・ポストアワード業務 6. フラッグシップ拠点、他のシナジー拠点、サポート機関との連携構築に関する業務 なお、その他の研究支援やアウトリーチ活動に係る業務にも従事していただく可能性があります。 ※自らが競争的資金等の研究代表者及び分担者になることはできません。
待 遇 等	採用時期	採用内定後のできるだけ早い時期（応相談）
	給与等	年俸制 700万円～（経歴・業績等を考慮し、本学の特定雇用職員給与規程に基づき決定される）
	勤務時間※	8時30分～17時15分（1日当たり7時間45分勤務）（専門業務型裁量労働制）
	休日※	週休日（土曜、日曜）、祝日及び12月29日から翌年1月3日
	休暇等※	年次有給休暇、特別休暇（産前産後休暇、忌引休暇等）、病気休暇、育児休業等
	福利厚生	文部科学省共済組合・厚生年金・雇用保険・労災保険に加入
	任期	採用日～2026年3月31日まで（勤務状況等に応じて更新の可能性あり。）

	・ 高度特定専門員（特任助教：URA）での採用を原則としますが、経験・能力等に応じて別の職名で採用する場合があります。 ・ 毎年度、業務の進捗状況等の確認・評価を実施します。 ・ 能力等に応じて昇格の可能性がありますが。
--	---

※詳細は千葉大学特定雇用職員就業規則参照

提出書類	① 履歴書（本学様式（以下の URL からダウンロードできます） https://www.chiba-u.ac.jp/general/recruit/recruit_staff/staff/index.html ②業務実績の要約 ③拠点の研究支援専門人材（URA）として活動を行うにあたっての抱負等（400文字以内） ※提出書類は全てについて電子媒体（MS Wordファイル及びPDFファイルの2つのファイル形式）により提出すること。 ※②～③については様式任意とする。
------	--

提出締切日	随時選考実施（決定次第終了）
書類提出先・ 問合せ先	千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点 担当：松本 (Mail : wkyoten-soumu@chiba-u.jp) (Tel : 043-226-2072) ※郵送での書類提出を希望される場合は「ワクチン拠点応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留・レターパック等配送履歴の残る方法により下記までお送りください。 〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 国立大学法人千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点 事務部門 担当：松本
留意事項	① 応募書類は、本選考以外には使用しません。 選考後は責任をもって破棄します。 ②選考過程で面接を実施する場合があります（面接に伴う交通費等の費用の支給はありません）。 ③ 教育研究業績が同等であれば、女性、外国人を積極的に採用します。

【未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点について】

千葉大学は、日本医療研究開発機構（AMED）「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」において、東京大学（フラッグシップ拠点）、北海道大学・大阪大学・長崎大学（シナジー拠点）とともに、シナジー拠点として採択されました。これを受け千葉大学に「未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点」が令和4年10月1日に設置されました。

<https://csimva.chiba-u.jp/>

「未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点」（拠点長：清野 宏 卓越教授）では、全身免疫に加えて、従来の注射型ワクチンでは誘導が難しい粘膜免疫を惹起でき、感染阻止と重症化回避ができる粘膜ワクチン（経鼻や経口等）の開発等を推進します。

具体的には、ヒト細胞共培養やオルガノイド技術等を利用したヒト粘膜免疫の理解や、病原性免疫記憶、生体防御免疫記憶等の免疫誘導の場と記憶免疫の理解に基づいた粘膜ワクチン研究開発を推進します。さらに、「呼吸器感染症をターゲットにした経鼻ワクチン」、「腸管感染症の予防を目指す経口ワクチン」の開発を中心に推進し、研究部門、附属病院、企業との強力な連携により、有効で安全・安心な粘膜ワクチンの実用化による社会貢献を目指します。